



札幌東高等学校同窓会報

R5年度及び6年度に校舎の大規模改修が実施されました。
R7年夏の東高校舎です。(33期大川亮夫撮影)



©AKIO OKAWA All rights reserved 2025

会長挨拶

第116回札幌東高等学校同窓会総会・懇親会によせて

札幌東高等学校同窓会 会長 加藤 敏彦



第116回札幌東高校同窓会総会・懇親会の開催に当たり、ご挨拶申し上げます。

まず、同窓会会員の皆様には本同窓会に、日頃より温かいご支援ご協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

日本列島が、猛暑にみまわれております。札幌においても、6月から30度を超える日が続き、体調管理に気を遣う日々が多くなっておりますが、皆様方におかれましては、健やかな日々を送られていることと思います。

さて、この会報におきまして皆様方が一番読まれているのは母校の近況ではないかと思います。後輩たちは、元気にやっているか? どんな大学に行っているのか? 部活はどうしているかなど、様々なことが気になるのではないかでしょうか?

これが、母校に対する愛情の現れではないかと思います。そして、東高校生が表彰された、地区大会に勝ち進んでいる、有名大学に何人入った、など一つひとつが、「後輩は頑張っているな」と我々先輩に元気を与えていたりするのではないか。我々同窓生も後輩に元気を与えなければなりません。そんな意味でも同窓会の活動の重要性があるのではないかと思っております。

当番期の皆さんには、暑い中、総会・懇親会の準備に一生懸命取り組んでいただき感謝申し上げます。どうか多くの皆様がいらしていただき、同窓の輪を広げていきたいと願っております。

結びになりますが、皆様のこれまでのご支援・ご協力に感謝申し上げるとともに、北海道札幌東高等学校のますますの発展と同窓会会員皆様のご多幸を祈念致しまして、同窓会報発行に当たっての挨拶とさせていただきます。

校長挨拶

「札幌東高校 シンカに向けて」

北海道札幌東高等学校長 須藤 克志

同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度も新入生320名を迎、新学期がスタートいたしました。昨年度は、医学部医学科に5名、北海道大学に58名、さらに京都大学や一橋大学などの難関大学への合格者を輩出し、これまで以上に高い進路実績を上げることができました。生徒たちは学業はもとより、部活動や学校行事にも全力で取り組んでおり、本年度もさらなる飛躍が期待されます。

本校では今年度、「東高シンカ（進化×深化=真価）」をキャッチフレーズに掲げ、生徒たちが学びや活動を通じて、それぞれの「真価」を發揮できる環境づくりを進めております。昨年度には、保護者の皆様、学校評議員、同窓会の皆様を対象にアンケートを実施し、多くの貴重なご意見を頂戴いたしました。それらのご意見を踏まえ、教職員一同で本校の方向性や課題について真摯に議論を重ね、新たなスクールミッション「自ら人生を切り拓く力を育てる」を策定いたしました。このスクールミッションのもと、生徒がこれから身につけるべき力として、以下の4つをスクールポリシーに掲げました。

- ・他者と協働しながら学びを深める「関わる力」
- ・論理的に考え、未来を見通す「見通す力」
- ・粘り強く探究を続ける「やり抜く力」
- ・自ら行動を起こし、実現へ導く「かなえる力」

さらに、3年間を見据えた初期指導プログラム「シンカプロジェクト」や、探究活動をさらに深化させる「HIGASHI QUEST」も本年度より本格的に始動いたしました。加えて、昨年度からは同窓生をお招きし、職業や生き方について語っていただく「キャリアトーク」もスタートいたしました。社会で活躍されている同窓生の姿は、生徒にとって何よりの手本となります。ぜひ今後も、同窓会の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

本校が何よりも大切にしているのは、生徒一人ひとりが、学習のみならず、部活動、学校行事、探究活動など、あらゆる場面で主体的に挑戦し、自己の成長を実感できることです。「自ら考え、行動し、何かを成し遂げた」という経験は、生徒にとってかけがえのない自信となり、成長へつながるものと信じております。未知の分野にも果敢に挑み、失敗を恐れず前進する姿勢を育むことこそが、未来の社会で活躍する力の礎になると考えております。今後も「ALL札東」として、現役生徒、同窓生、PTA、地域の皆様など、東高に関わるすべての方々の力を結集し、生徒の可能性を大きく広げてまいります。

最後になりますが、今後も現状に満足することなく、地域やご家庭の期待と信頼に応えるべく、さまざまな分野で活躍できる人材の育成に努めてまいります。同窓会の皆様には、引き続き本校の教育活動への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、札幌東同窓会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

母校は今

母校の近況

37期 伊藤 龍司（同窓会事務局、札幌東高現職教員）

いつもお世話になっております。校舎の改修工事も終わり、きれいになった東高の外装を見られるようになりました。学校祭にいらした方は、新装してメニューもより多岐になった購買をご覧になった方も多いことでしょう。このように、今年度も新しい流れが起こっていますのでご報告いたします。

現在東高では「東高シンカ 進化×深化=真価 自ら人生を切り拓く力を育てる」というキャッチャーなスローガンを立て、対外的にもその存在をアピールしています。素敵なポスターも完成しました。従来の学力・進学面での成果もさることながら、より幅の広い東高生の成長を支援していくという姿勢を打ち出し、様々な方面でその実現化を目指しています。例えば部活動。もっと活躍をアピールしようということで、学友会総務の生徒たちが校内に写真入り高体連結果報告掲示を作ってくれました。また、恒例「新入生歓迎会」でも部活動対抗リレーを実施しました。それに呼応してか、後述の通り全国大会進出を決めた部局も出ております。そして探究活動。従来の取り組みに加えて、今年は「HIGASHI QUEST」と題して、週二回ペースで新聞コラムなどから読み物を全校生徒に配布、読解力や授業外の広範な知識、社会的考察力の向上を図っています。進路部でも「キャリア・トーク」として、各界の職業人に話を聞く頻度を増やしています。

倍率1.6の難関入試を乗り越えた新入生を迎えて、東高はまた新たな「東高シンカ」を目指しております。皆様もどうぞ応援ください。



部活探訪

昨年度は、水泳競技の河野通虎くんがオーストラリアのキャンベラで行われた『第10回ジュニア・パン・パシフィック選手権』にて200mバタフライ3位となり、報道や学校に記念看板を立てたのでご存じの方も多いことでしょう。他にもESSが英語弁論大会ディベートの部で全道3位となり、岡山で行われた全国大会に出場しました。また、久しぶりに新設の「クイズ研究同好会」が出来ました。

そして今年度も多くの部活動が活躍しております。その中で、体操部の3年生、田中くんが男子個人総合優勝、種目別ロープ1位、クラブ1位で、3年生相馬さんが女子一部個人総合3位、種目別平均台2位、跳馬3位でインターハイ出場を決めております。相馬さんは第79回国民スポーツ大会北海道選手選考会でも4位に入賞し、9月に滋賀県で行われる国民スポーツ大会の北海道代表選手に選考されました。陸上競技部の3年生井内さんも400mハーフドールで3位となり全国進出の権利を獲得しています。文化系でも、放送局がNHK杯全国高校放送コンテストにおいて創作ラジオ部門が全道第3位になり、東京で行われる全国大会に出場しました。

競技かるた部の3年生池浦さんも滋賀県大津市で行われる全国高校選手権に出場しております。さらに、香川県で行われた全国総文祭にはアナウンス部門で放送局3年生の木村さん、書道部3年生の米田さん、詩部門で文芸部3年生の畠中さんが参加しました。

その中で、今年度は図書局を紹介します。皆さんもかつての図書室を思い出すことでしょう。新校舎になってから変わらず3階北西端に存在していますが、全道的にも特筆すべき活動を行っていて各方面に報道されることもしばしば。今回、局長の堀内さんから寄稿していただきましたのでここに掲載します。

図書局は「文化の発信」を活動の軸として、3年生5人、2年生5人、1年生8人の計18人で活動しています。我々はただ通常の図書館業務をこなすだけではなく、主に2種類のイベントの企画運営に力を入れています。

1つ目は文化部とのコラボイベントです。図書館で音楽系部活動のライブを行ったり、生物部とのコラボで生き物展示を行ったり、写真部と合同で写真教室を開催したりしました。特にフォークソング部とのコラボライブには、毎回座席が足りなくなるほど多くの人が訪れます。このようなイベントを通して、本をあまり読まない生徒も図書館に訪れるきっかけを創出しています。

2つ目は時事問題について考えるイベントです。普段、ニュースで見聞きするだけの時事問題について知り、考え、言語化する機会の提供を目的として企画しています。外部の方や団体に協力を依頼し、過去には北海道被爆者協会の方による被爆体験講話、国連UNHCR協会の皆様による難民問題に関する講演会・ワークショップを開催しました。これらの取り組みはテレビ局、新聞社に取材いただきました。

私たちは、図書館を本を読むだけの空間として終わらせず、新たな図書館の可能性を模索すべく、今後も新たなイベントを企画・運営していきます。

また、図書局は学校祭で古本市を開催しています。古本市の売り上げは図書局が運営するイベント等を通して生徒の皆さんに還元されます。同窓生の皆様からも古本をご提供いただきたいと思っておりますので、来年度以降ぜひ協力お願いします。

つい先日7/16にも「新聞を読んで選挙に行こう」というイベントを行ってくれました。本の展示や館報の作成など、普段の活動もハイクオリティですし、小説で映画化されたものの放映会、ハロウィンや節分イベントなど、多岐にわたってアクティビティに活躍しています。これから活動にもご期待ください。

今回はもう一つ、学友会総務を紹介します。ご存じの通り、本校では生徒の自治組織を「生徒会」ではなく「学友会」と呼称しています。学校祭や体育大会、新入生歓迎会などの主要行事経営を中心として、他にも学友会会計事務、機関誌の発行、壮行会、等々、その活動は多岐にわたっています。かつては選挙で選ばれた新学友会長が総務部員を組閣していく方法をとっていましたが、今は部活動の入会と同じ時期の4月から総務部員を募り、そこで集まったメンバーで役割を分担していくやり方に変化しています。

3年生の学友会総務は、コロナで一時途絶えた行事群を、昨年度卒の学友会総務とともに立て直しました。体操のインターハイ補助も担い、主要行事では連続して雨に悩まされたり、苦労も絶えませんでしたが、今回の学校祭をもって第一線から退く事になりました。会長を務めた 猪原 光歩くんより文章をいただいているので掲載します。

今回の学校祭では、鹿が校舎に出没するなど思わずハプニングがありました。また、個人単位で見ても、さまざまな想定外の出来事があったことと思います。それでも、そうしたことさえも笑い話にできるくらい、心から「素晴らしい学校祭だった」と感じています。

この東高祭の成功は、何よりも皆さんのご協力が不可欠でした。
運営に携わってくださった全ての皆さんに、心より感謝申し上げます。

他にも数多くの部活動、局が熱心な活動を行っています。これからも後輩たちの活躍にご注目ください。

お願い

文章中にあったとおり、図書局では毎年学校祭で「古本市」を開催しています。ぜひ同窓生の皆様も、自宅で眠っている蔵書、後輩に読んでもらいたいオススメ本を東高図書局に寄贈ください。寄贈の際には事前に札幌東高の図書局担当、もしくは同窓会担当者宛てに連絡いただければ幸いです。

卒業生の主な進路

卒業時期	国公立大学				私立大学			短大・各種学校	就職
	道内	(北大)	道外	合計	道内	道外	合計		
令和7年3月	130	58	78	208	25	31	56	1	0
令和6年3月	118	45	76	194	33	33	66	0	0



第115回東高同窓会総会・懇親会

第115回札幌東高同窓会総会・懇親会実行委員 菅井 秀樹 (40期)

紡 2024～face to face



懇親会の会場風景

令和6年8月24日(土)、ホテル ライフォート札幌において、第115回 市立高女、市立第一、札幌東高同窓会総会・懇親会が、約160名の恩師・同窓生の出席のもと盛大に開催されました。

コロナ禍の影響で中断されていた同窓会総会・懇親会は令和5年度から再開され、東高39期の先輩たちから同窓会実行委員のバトンを受け継ぎました。第115回のテーマは、「高校時代からの友情や思い出と、未来へ続く新たな絆を一本の糸で紡ぐように大切にしながら、直接顔を合わせて繋がれることの尊さを感じてもらいたい」という想いを込めて「紡 2024～face to face」としました。

令和6年1月に東高40期、54期の当番期有志を中心に実行委員会を立ち上げ、準備を進めてまいりました。限られた時間と予算の中で至らぬ点もあったかと存じますが、無事に開催できましたことを嬉しく思っております。

当日は遠方より参加してくださった方々、ご多用の中、日程を調整して参加してくださった皆さまはじめ、出席していただいた皆さんに心より感謝申し上げます。懇親会の最後では出席者皆さまの校歌合唱を聞いて安堵感に浸っていました。

このように盛会裏に同窓会を終えることができたのも、加藤同窓会長をはじめ、同窓会役員、教職員、恩師、そして同窓生の皆さまのご支援、ご協力の賜物であり、改めて心から感謝申し上げます。

今年度の第116回同窓会・懇親会が盛会となるとともに、今後も益々、東高同窓会が発展し皆さまとの繋がりがより豊かに継続していくことをご祈念申し上げます。

同期会開催状況

令和6年10月3日 6期「とんろく会」第60回をもって最後の開催といたしました
令和7年1月11日 73期 ホテルライフォート札幌にて200人を超える同期生が集いました
令和7年5月31日 14期 札幌東高校14期 2025年東京同期会（第41回）16名の参加
他に 東高15期、19期、23期、札幌市役所自彌会

○同期会助成について

同期会の開催には交流拡大を目的とした助成金制度がありますのでご利用ください。

- ・基準：卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る（地域または一部を対象とする会は除外）
- ・金額：1回につき1万円（ただし初回のみ3万円）
- ・手続：同期会開催通知（案内状等）に参加（予定）人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送、ファックス、電子メール等で送信する。振込先は、同期会代表者又は会計担当とする

○開催結果は

同窓会メールアドレス info@shh-dousou.com または事務局にご報告ください。



ステージに登壇した各クラスの幹事
(上)と
委嘱状を読み上げる檜田副会長(右)



第75期生の皆さんようこそ

今年3月に卒業された第75期の皆さん の同窓会入会式と新幹事研修会が開催されました。

令和7年2月28日(金)、卒業式のリハーサル後に母校体育館で、第75期308名の入会式を行いました。檜田同窓会副会長からの歓迎の挨拶に応え、代表幹事から同窓会活動への心強い決意表明がありました。

また、6月7日(土)には、昨年に続いて母校をお借りして、第75期の各クラスの幹事を対象にした研修会を開催しました。この日は、新幹事9名が参加。なごやかに全員の自己紹介をした後に、小田原幹事長や各部会長からの同窓会活動・吉田実行委員長から第116回総会懇親会の説明、東京同窓会の紹介、伊藤先生から母校の近況報告を熱心に聞き入っていました。この後の東高祭同窓会展示や総会懇親会での活躍を期待しています。

熱心に聞き入る新幹事たち(右)と
参加者とともに(下)



同窓会展示室公開

東高祭の一般公開に合わせて、同窓会展示ルームを開きました。歴代の卒業アルバム展示には多くの人が見入っていました。卒業アルバム展示は昨年は個人情報の関係で展示ができませんでしたが、新幹事研修会時の75期生の皆さんとのマスキング作業により今年は展示することができました。



東高祭 フォトスケッチ



ゴルフ会から

ゴルフ会 会長 三上 義行 (19期)

第43回札幌東高校同窓会交流ゴルフ大会

6月22日(日曜日)芙蓉カントリークラブにて39名の参加者で開催されました。集合写真の水溜まりも絵になる良い天気に恵まれた大会でした。

個人優勝は32期の武石考司さんグロス90、ネット70.8でした。準優勝は27期熊谷誠一さんでした。団体優勝は32期A杉本、藤中、常盤、高橋さんチームです。

今年も1期の吉田さん高松さんに7期阿部さんが元気に参加、チームは9位でした。ベストグロスで上がった32期常盤さんが5位、117打の39期野村さんが4位とダブルペリアの楽しいゴルフ大会です。

他に「東G会」という卒業生誰でもOKという会(LINE連絡)が有りますので気楽に参加しませんか。平日開催のゴルフ会で人気のゴルフ場で月1回開催しています。

第5回札幌東西南北高校同窓会交流ゴルフ大会

7月6日(日曜日)札幌エルムカントリークラブにて各高校からの20名の選抜?の参加者計80名で開催されました。

初回優勝は東高、3年連続西高さん優勝でしたが今年は南高さんの優勝でした。東高は僅差で昨年に続き準優勝でした。でも個人戦では32期の武石考司さんグロス86、ネット71.6で優勝です。ベストグロスも32期の杉本繁郎さんが72で取りました。盛り上がりが凄かったです。

来年の第6回は東高が当番高ですので精鋭?集めての開催で楽しく盛り上がりたいと思います。

同窓会より協賛金頂きました。ありがとうございます。



東京同窓会から

札幌市立高女・札幌東高

45「第45回東京同窓会」総会/懇親会

Hokkaido Sapporo Higashi High School

「札幌市立高女・札幌東高東京同窓会」総会*懇親会を今秋11月8日『アリスアクリアガーデン銀座』で開催致します。東京メトロ銀座線京橋駅に直結した会場です。今回の記念企画は「各界で活躍する札幌東高校卒業生」紹介です。あの著名人も同窓生だったのかと、新しい発見があるかもしれません。また札幌から須藤校長も来られます。お子様連れの参加も歓迎します。札幌からの参加も大歓迎です、是非ご参加ください。

●日 時：2025年11月8日（土曜日）

●会 場：Alice aqua garden Tokyo銀座（アリスアクリアガーデン東京銀座）
東京都中央区京橋3-7-1 相互館110タワーB1
TEL: 03-3567-8886

●東京同窓会問合せ：bowling.se.hs@gmail.com 26期 小島 稔

●受付時間：11時30分～12時

●総会・懇親会：12時～14時30分

●会 費：9,000円・小学生以下の参加は会費500円

※別途年会費1,000円が必要です。【終身会員、10年前納会員、札幌同窓会の年会費納入者は不要】

●アクセス：JR各線東京駅八重洲南口徒歩5分、

東京メトロ銀座線京橋駅（2番出口）徒歩0分※駅直結、都営浅草線宝町駅徒歩2分



第44回札幌市立高女＊札幌東高東京同窓会総会＊懇親会 開催報告

2024年11月9日（土曜日）に「第44回札幌市立高女・札幌東高東京同窓会」総会*懇親会を開催しました。約100名の参加を頂きました。ゲスト演奏は、東高54期、清野百香さん（バイオリンリスト）高木梓さん（ピアニスト）。更にベースリストとして活躍されている東高42期工藤精さんが参加されました。札幌から来賓として、須藤克志校長、加藤同窓会会长の代理として里谷氏、同窓会幹事長の小田原氏が参加されました。懇親会では、須藤校長が東高54期の担任だったこともあり、教え子たちとの再会に盛り上りました。



会計報告

(単位：円)

R7年度予算

一般会計

(収入の部) 令和6年度決算(R06.7.1～R07.5.31)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
前 年 度 繰 越 金	2,781,288	2,781,288	0	令和5年度から繰越金
新 入 会 員 会 費	1,550,000	1,545,000	▲ 5,000	令和7年3月卒業生 309名×5,000円
会 費	480,000	358,500	▲ 121,500	会員年会費 1,500円×239名
雑 収 入	88,712	243,805	155,093	名簿売上 寄付・ご厚志 ピンバッジ売上
合 計	4,900,000	4,928,593	28,593	

(支出の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	摘 要
事 務 局 費	120,000	54,108	65,892	同窓会保存用卒業アルバム ゆうちょ手数料
事 務 用 品 費	40,000	33,284	6,716	事務消耗品
印 刷 費	150,000	0	150,000	
通 信 費	400,000	190,021	209,979	会報・通信等送料
慶弔 費	30,000	0	30,000	
会 議 費	530,000	425,966	104,034	会場費・夕食代 東京同窓会出席経費 茶代
総 会 関 係 費	200,000	100,990	99,010	令和6年度「総会・懇親会」実行委員会活動費
会 報 発 行 費	180,000	174,535	5,465	会報52号印刷 (A4 P4 3,000部)
学 校 祭 関 係 費	50,000	38,570	11,430	東高まんじゅう 花代 弁当代・消耗品
同 期 会 等 助 成 費	250,000	118,580	131,420	同期会助成(手数料含む5件) 麻雀交流会助成 ゴルフ会
新 会 員 関 係 費	200,000	175,366	24,634	卒業式紅白餅(380箱)
体育文化助成費等	50,000	50,000	0	学友会、体育・文化後援会助成
母校行事等助成費	350,000	238,090	111,910	体育大会飲料費 同窓会会員章(同窓会ピンバッジ)
HP構築・維持費	70,000	48,400	21,600	ホームページ委託費 更新手数料
特別会計積立金	100,000	100,000	0	積立金(特別会計積立金口座へ)
予 備 費	2,180,000	780,780	1,399,220	同窓会ピンバッジ製作
合 計	4,900,000	2,528,690	2,371,310	

差引の部

特別会計等積立金決算

項 目	R5年度未 繰越額	増 額		減 額		R6年度未決算額
		金 額	事 由	金 額	事 由	
特別会計積立金	5,238,642	100,000	一般会計より繰入	880	残高証明発行手数料	5,337,762
周年事業基金	3,036,044	0		880	残高証明発行手数料	3,035,164
合 計	8,274,686	100,000		1,760		8,372,926

同窓会役員名簿

令和7年8月現在

役 職	氏 名	期	役 職	氏 名	期	役 職	氏 名	期	役 職	氏 名	期
顧 問	川 島 大 介	8	副幹事長	伊 東 康 博	16	常任幹事	五十嵐 信 彰	3	常任幹事	岡 部 文 子	15
相 談 役	水 谷 洋 一	15		井 浦 功 雄	18		畠 山 義 範	4		橋 本 喬 史	15
	里 谷 彰	19		宮 崎 直 美	20		新 井 田 弘	5		鈴 木 裕 子	17
会 長	加 藤 敏 彦	23		清 水 紀 子	22		高 橋 清 一	5		小 熊 正 子	17
副 会 長	高 木 純 子	4		昔 農 徹	24		藤 林 和 夫	6		中 林 昭 人	19
	木 部 義 一	6		高 橋 順 一	25		鈴 木 敏 夫	7		松 井 良 一	19
	三 上 義 行	19		白 崎 司	28		遠 藤 安 倫	8		山 中 ま さ と	28
	中 村 武 信	23		手 島 久 仁 彦	28		古 山 誠 子	8		北 橋 佐 恵 子	30
	岸 光 右	25		設 楽 浩 之	34		佐 藤 公 二 男	8		富 横 勝	31
	前 田 晃 老	27		渡 邊 淳	36		杉 谷 憲 二	8		谷 祐 児	36
	野 坂 美 由 紀	27		八 木 野 久	37		中 村 敏 克	9		山 形 有 祐	40
	吉 岡 和 彦	29		吉 野 健 治	37		小 飼 洋 三	9		松 田 智 宏	40
	金 子 誠 二	30		松 本 瞳	37		長 谷 川 善 教	11		山 田 麻 美 子	44
	檜 田 英 樹	30		長 谷 川 正	39		渡 邊 凱 子	12		駒 田 健 太 郎	45

同窓会 この1年間の活動

〈令和6年7月1日～令和7年5月31日〉

☆総会及び役員会等

- ・第115回同窓会総会・懇親会
◇当番期 東高40期、54期、63期、74期
日時：令和6年8月24日(土) 午後6時から
会場：ホテル ライフオート札幌(札幌市中央区南10条西1丁目)
参加人数：160名
- ・拡大幹事会
日時：令和6年7月2日(火)
会場：ホテル ノースシティ 総会議案審議等
- ・第44回札幌市立高女・札幌東高「東京同窓会」総会・懇親会
日時：令和6年11月9日(土) 12時から
会場：アリスアクリアガーデン田町
参加人数：98名(ご家族・お子さん1名)
- ・執行委員会
日時：令和6年11月12日(火)
会場：札幌サンプラザ
同窓会活動の中間報告、執行委員の所属部会について等
- ・常任幹事会
日時：令和7年1月18日(土)
会場：中村屋旅館 会務・一般会計中間報告等

☆広報活動

- ・総会開催日に「札幌東高同窓会報」第52号を発刊し配布
- ・ホームページの随時更新

☆母校発展のための事業

- ・第75回東高祭 令和6年7月6日(土)
同窓会展示ルームを開設
過年度同窓会報・パネル等の展示
- ・在校生支援／体育部・文化部活動、学友会活動に資金援助
- ・新入会員関係
同窓会(新入会員)入会式
令和7年2月28日(金) 第75期卒業生

☆本会の組織強化のための事業(同期会・同好会)

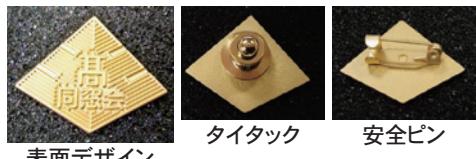
- ・ゴルフ同好会
第4回東・西・南・北高校同窓会交流ゴルフ大会
令和6年7月13日開催
- ・同期会助成 各期からの申請に基づき、随時助成
東高15期、19期、23期、73期 札幌市役所自彌会
- ・麻雀交流会 令和7年2月19日開催

同窓会事務局から

●同窓会ピンバッジの販売について

同窓会のピンバッジを作製しました。ご希望の方には、販売を行っておりますので、下記販売概要をご覧の上、お申し込みください。

《販売概要》 販売金額：1個、1,000円



○種類：留め具が、タイタックと安全ピンの2種類あります(画像をご参照ください)。

表面デザイン

○送料：実費をご負担いただきます(普通郵便を想定しています)。

タイタック

○購入手続き：ホームページの同窓会事務局にて、購入希望者の方のお名前、住所、購入希望個数(バッジの種類と個数)、普通郵便以外の発送方法をご希望される場合はその旨、を記載したメールを送付してください。折り返し、お支払金額、振込先(振込手数料のご負担をお願いします)をご連絡します。代金等の振込が確認できましたら、ピンバッジを送付します。

安全ピン

●同窓会年会費納入のお願い

年会費は、同窓会運営上の大きな財源として運用され、母校の活動助成にも活用されています。令和5年度年会費(1,500円)について、納入をお願いしております。隨時、受け付けておりますので、下記口座への振り込みをお願いいたします。

●同窓会へ連絡・質問・意見はこちらにお寄せください

札幌東高等学校同窓会事務局

〒003-0809 札幌市白石区菊水9条3丁目

(札幌東高等学校内)

☎011-831-6332 FAX011-811-3952

メールアドレス/

info@shh-dousou.com

事務局担当 伊藤先生・形部先生

- | |
|--|
| (1) 銀 行 名 ゆうちょ銀行 |
| (2) 記 号 番 号 02700-1-10080 |
| (3) 口 座 名 札幌東高等学校同窓会
(サッポロヒガシコウトウガッコウドウソウカイ) |
| (4) 他金融機関から《店名》二七九 《店番》279
振 込 の 場 合 《預金種目》当座預金 《口座番号》10080 |



同窓会ホームページ

編集 スタッフ

同窓会の業務を通じて、母校に足を運ぶ機会が増えてきた。自らが学んだ旧校舎はすでに姿を消していたが、かつて七年間教壇に立った教室に立ち寄ると、不思議と時が巻き戻るような感覚に包まれる。生徒と一緒に学校祭で展示物を作ったこと。体育祭では声をからしながら応援したこと、どれをとっても自分の中では宝物のような思い出だ。

そんなある日、校舎の廊下で出会った二人の女子生徒。昔と変わらぬ制服姿で「ここにちは」と満面の笑みを向けてくれた彼女らの瞳には、知性と輝きがあった。素朴ながらも、そ

こに滲む品性と清潔感。その佇まいを見て、ふと「ああ、これが東高生なんだな」と心の中でつぶやいた。

変わらぬ精神と新たな風——母校には、今も誇り高き東高の息吹が確かに息づいている。

編集長 吉岡 和彦(29期) 広報部会長

編集参与 相沢 徹(15期) 野坂 美由紀(27期)

広報部会 三上 義行(19期) 佐伯 和哉(31期) 上野 健治(37期)

松本 聰(37期) 植木 佳子(48期) 阿部 啓太郎(49期)

●投稿・新規特集のアイデア・ご意見などお寄せください。●会報編集に携わりませんか。若い世代の方大歓迎です。